

春節連休中の観光客 3億4400万人に、観光収入は約7兆円

中国国家観光局によると、2017年の春節（旧正月、今年は1月28日）の連休期間中に観光地を訪れた人は約3億4400万人に達した。前年比で13.8%増加し、観光収入は同15.9%増の4233億元（約6兆9700億円）となった。

2022年の冬季オリンピックの開催地が北京に決まったことから、氷や雪にちなんだ旅行の人气が高まり、北方の多くの地域で観光客数と観光収入が2けたの伸びを示した。また南方の大部分の地域は気候条件がよいこともあり、これまで「避寒旅行」と言えば海南だったものが、南西地域の各省や自治区にも広がりを見せ多数の人が押し寄せた。

中国では、家族旅行が新たな年越しスタイルになっている。大晦日にあたる1月27日には、全国で旅行ラッシュのピークを迎え、観光客数はのべ5050万人に上り、前年から10.4%増加した。観光収入も590億元（9700億円）となり13.3%増加した。

「全国観光団体ツアーサービス管理システム」によると、今年の春節連休期間中に海外に出かけた中国人は約615万人で前年から約7%増加した。このうち団体ツアーに参加した人は37万4000人で同2.5%の増加だった。一方で、海外への個人旅行者など、団体ツアー以外の観光客も増加した。とくに、豪華な海外旅行が急速な伸びを示した。

海外旅行に行った人の居住地をみると、沿海地域の発達したエリアや北京・上海・広州・深センといった「一線都市」から「二線都市」、「三線都市」へと拡大している。たとえば広西チワン族自治区は海外へ旅行した人の伸びが著しく、省区市別番付で順位を上げた。

海外旅行で人気が高かったのは、タイ、日本、フランス、イタリア、インドネシア、オーストラリア、スイス、米国、スペイン、ドイツの10カ国。これまで旅行先人気トップ3の常連だった韓国は、今年の春節期間中のトップ10の圏外となった。

昨年の春節期間中における海外旅行の旅行先人気トップ10の圏外だったオーストラリアが今年6位まで順位を上げたのは、中国人を対象に査証（ビザ）発給要件を緩和したことが最大の要因だ。オーストラリアは、2016年12月12日から、中国のパスポートを持っており、中国大陸部で申請する人を対象に、有効期間10年の数次査証（マルチビザ）を発行する試みを開始した。タイミングよく、今年の春節前にビザを申請できるようになったことから、オーストラリアへの韓国客が大幅に増加した。

（曹 雪飛）

南京市老東門に押し寄せた観光客



上海外灘も観光客であふれた

